

世界最大級のバイオ産業クラスターである「バイオコンバレー」との相互支援に関する MOU 締結！ ～休養(リハビリ)からのヘルスケア産業への支援を開始～

一般社団法人日本リハビリ協会（事務局：神奈川県厚木市、代表理事：片野秀樹）は、この度、世界最大級のバイオ産業クラスターであるドイツ北東部 MV 州「バイオコンバレー メクレンブルク・フォアポンメルン e.V.」との交流を行い、この交流により両協会のヘルスケア分野の相互支援に関する MOU（Memorandum Of Understanding：日本語訳 了解覚書）を締結しました。この MOU 締結により一般社団法人日本リハビリ協会は、ヘルスケアに関する優れた技術開発に関する連携活動や有識者との国際セミナーなどを開催し、休養（リハビリ）分野における最先端の知見を共有する取り組みを進めるなど、両協会の発展に向けて活動を行います。当協会として、初の海外機関との連携事例であり、休養リテラシーの向上や提案、新たな暮らしや豊かな社会に向けた国際的な取り組みは国内初の事例となります。

◆MOU の内容

両協会は、下記分野に関するヘルスエコノミーに関する協力を行うものとする

- ・ 休養・リハビリ全般
- ・ 温泉・森林浴等の休養ソリューション
- ・ 休養のヘルスツーリズム

◆MOU の背景

バイオコンバレー メクレンブルク・フォアポンメルン e.V.は、日本リハビリ協会が中心となり神奈川県未病産業研究会休養分科会にて実施した国内休養市場規模算出活動を高く評価、さらに日本リハビリ協会が実施する 10 万人を超える国内の休養大規模調査に対しても高く評価。これらの活動は、これまでの MV 州内での取組や方向性と深く類似していたこと、そして、神奈川県が実施する未病の考え取組にも関心を持つなどの背景から MOU の締結に至った。

◆バイオコンバレー メクレンブルク・フォアポンメルン e.V.について

ドイツ連邦北東部、バルト海に面して位置するメクレンブルク・フォアポメルン州のバイオコンバレーは、ドイツ連邦 MV 州政府や企業のサポートにより設立。ロストック大学やグレイフスバルトバルド大学との連携により、医療・農業・海洋の3つのバイオ産業クラスター形成を目指している。2002年には、スカンジナビア、バルト諸国、ドイツ等の12カ国が参加するバイオクラスターネットワークにも参画している。

URL <https://www.bioconvalley.org/verein>



◆一般社団法人日本リハビリ協会

名称：一般社団法人 日本リハビリ協会

所在地：神奈川県厚木市中町4-4-13 浅岡ビル4F

URL <https://www.recovery.or.jp>

会長：渡辺恭良（理化学研究所生命機能科学研究センター チームリーダー、大阪市立大学 名誉教授）

顧問：大谷泰夫（神奈川県立保健福祉大学 理事長、元内閣官房参与）

杉田正明（日本体育大学体育学部 教授、日本陸連 科学委員会委員長）

松木秀明（東海大学 名誉教授、健康評価施設査定機構 理事）

代表理事：片野秀樹 博士（医学）（日本体育大学研究員、ゲンキ・バイタルアカデミー諮問委員）

提携：ゲンキ・バイタルアカデミー（スイス）

◆休養専門メディア 「Recobar（リカバル）」

Recobar
Let's meet up at Recover-Bar.

毎日をガンバルために、リカバル習慣を。 <https://recover-bar.jp/>

<リリースに関するお問合せ先>

広報担当：一般社団法人日本リハビリ協会

E-mail：info@recovery.or.jp

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、在宅勤務体制を取っております。それに伴い、電話・FAXでのお問い合わせを一時休止させていただいております。メールでのお問い合わせは通常通り受け付けております。